経済学概論 II

科目ナンバリング　EDE-102
選択必修　　2単位

寺川　隆一郎

1. 授業の概要（ねらい）

　経済学という学問は、17世紀頃の西ヨーロッパで、全国的市場が確立したのを受けて誕生した。そのため、経済学は、一貫して市場を、研究の主題としてきた。市場のもつ、資源を効率的に配分し、新たな商品や、生産方法を生み出す力は、どのように分析できるのか、市場が社会関係を流動化し、すべてを貨幣で一元的に評価することが、人間社会の経済以外の側面にどのような緊張をもたらすのか。経済学の歴史を振り返ると、これらの疑問に、論者たちが、様々のかたちで回答を与えてきたことが分かる。前期の「経済学概論Ｉ」に引き続いて、本講義では、経済学の歴史を振り返ることで、市場と社会の関係についての、経済学の多様な洞察を学ぶことを目指す。

2. 授業の到達目標

経済学の基本的な考え方を習得する
失業や貿易、景気変動、環境といった経済と社会の境界領域については、経済学の内部でも多様な立場が存在することを理解する

3. 成績評価の方法および基準

平常点30%、期末テスト70%。平常点は、授業内で不定期に書いてもらう、リアクションペーパーの内容で評価する。よいリアクションペーパーとは、授業内容を踏まえ、独自の考えが書かれているものである。

4. 教科書・参考文献

参考文献
松原隆一郎　『経済思想史入門』　ちくま学芸文庫
太田一廣ほか編　『新版　経済思想史』　名古屋大学出版会

5. 準備学修の内容

配布されたプリントや参考書をよく読んでくること

6. その他履修上の注意事項

講義では、日々の経済ニュースの前提にある、基本的な考え方を解説する。新聞やインターネット、テレビで経済ニュースに意識して触れるようにすると、より理解が深まるだろう。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
【第2回】　前期の振り返り
【第3回】　限界革命
【第4回】　新古典派の成立
【第5回】　社会主義経済計算論争①
【第6回】　社会主義経済計算論争②
【第7回】　資本主義の変貌①：ソースティン・ヴェブレン
【第8回】　資本主義の変貌②：ジョン・R・コモンズ
【第9回】　ケインズ革命①
【第10回】　ケインズ革命②
【第11回】　新古典派総合の成立
【第12回】　新自由主義の経済学①：反ケインズの経済学
【第13回】　新自由主義の経済学②：ハイエク
【第14回】　市場社会の歴史的展望：ポランニー
【第15回】　まとめと期末テスト